

# しんば 賀津世と歩む会 NEWS

Shimba Kazuya to Ayumukai NEWS

平成19年9月発行  
Vol.11  
25,000部発行



託された皆様の想いを形に――

二期目の決意



再当選後の初登院。国会中央玄関前で決意を新たに(8月7日)



八十二万三千百八十四名もの県民の皆様のご支持を賜り二期目の当選をさせて頂いてから、早くも二ヶ月以上が過ぎました。今夏の参議院選挙は、前半は台風が直撃するなど連日の大雨、後半は三十五度を超える猛暑の連続でしたが、本当に多くの皆様に支えられ励まされ、無事に闘い抜くことができました。皆様からのご支援やご指導を振り返るたびに、責任の重さを痛感し、正に身の引き締まる想いで一杯になります。初心を忘れず、謙虚にそして全力で二期目の職責を果たすことを改めてお誓い申し上げます。

ご承知の通り、九月十日から始まった第六八回臨時国会は、安倍首相が、自身の所信表

明演説に対する各党の代表質問の直前に、突如辞任表明するという前代未聞の混乱の幕開けとなりました。本来、今夏の参議院選挙で有権者の皆様から審判が下された時点で決断すべきであり、この時期の辞任は、正に無責任の極みと言わざるを得ません。

今回の首相辞任が象徴しますように、皆様のご支援により、参議院で与野党が逆転、民主党が参議院で第一党となるなど、私たちの目指す「政権交代可能な政治文化」実現のための歴史的な第一歩を踏み出すことができました。しかし、肝心なのは「勝つて兜の緒を締める」ことです。反対だけの野党的体質を払拭し、具体的かつ現実的な立法作業に直ちにに取り組

まなくてはなりません。「官僚主権から国民主権の政治」や「二円の税金も無駄遣いしない政治」そして「消えた年金を取り戻す」ことを実現しなくてはなりません。

遅くとも二年以内に必ず衆議院総選挙があります。今回の歴史的成果を「市民が主役の政治」の実現に結実させるためにも、やはり衆・参合わせての与野党逆転・政権交代の実現が不可欠です。決して慢心することなく、原点を大切に尽力致しますことを重ねてお誓い致します。引き続きのご指導をお願い申し上げます。

参議院議員

榛葉 賀津也

# しんば賀津也 熱闘の17日

皆様に支えられ、闘い抜くことが出来ました



7月12日 新浜松駅前



7月14日 静岡市青葉公園

**雨ニモ負ケズ**  
台風四号が直撃するなど、特に選挙戦前半ではあいにくの天気が続きましたが、演説会場にはいつも多くの方がお集まり下さり、しんば候補も風雨に負けじと熱く訴えました。

## 雨ニモ負ケズ

**出陣**  
七月十二日、掛川城三の丸広場にて出陣式を挙行。支援者の皆様の激励を受け、十七日間にわたる熱闘を開始しました。

## 出陣



7月22日 静岡市青葉公園



7月22日 静岡市青葉公園



7月26日 三島広小路駅前



7月23日 浜松市ザザンティ前



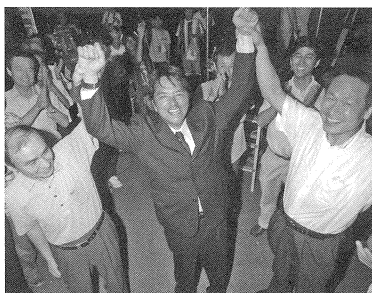
7月15日 三島駅前



7月16日 富士市内

**心強い応援と 激励**  
大変お忙しいにもかかわらず、選挙中は、連合静岡を始めとする支援団体の皆様、同志の議員の皆様、母校OBやボランティアの皆様、そして演説を聞いて下さった皆様から大変心強い応援と激励を頂きました。

7月21日 袋井市愛野駅南口



**当選!!**  
皆様に支えられ、八十二万三千八百八十四票ものご支持を頂きました。皆様の想いを胸に、二期目も全力で頑張ります。

## 当選!!



7月14日 焼津市内



7月25日 旧水窪町内

**県内を駆け回る**  
一人でも多くの方に直接訴えを聞いて頂きたく、しんば候補は、連日、選挙カーに乗り、時には走って、合計二百回以上の演説を行いました。

## 県内を駆け回る

第六回総会・国政報告会

2/17 (土)



仙谷由人先生 ご講演

大きな節目と新たな挑戦となる本年、今回の総会・国政報告会を地元の決起集会として位置づけました。地元で大活躍のグループ「レゾナテール」のすばらしい歌で開会。そして、応援弁士の仙谷由人衆議院議員から「二〇〇七年の展望、地域コミュニケーションから日本を変える」と題してご講演頂き、統地方選挙に向けて仙谷先生が中心となって作成した「とくしまマニフェスト」について触れながら、愛する子供たちのために私たち大人が地域から政治を変えていくことの必要性をお話し頂きました。続いて、しんば議員が決意表明を行い、二千名を超える参加者のもと、津川祥吾前衆議院議員と歩む会青年部によるガンパローコールで今夏の勝利を誓い合いました。

国会議事堂・東京ドーム 世界らん展見学ツアー

3/2 (金)



新春を飾る恒例行事となった「国会議事堂・東京ドーム世界らん展見学ツアー」、今回は三十八名のご参加をいただきました。午前中は通常の国会議事堂見学に加え、第委員会室見学やしんば議員との懇談もおこない、参議院内食堂での昼食懇談はとても話が弾みました。その後「お楽しみ観光」として、巣鴨のとげぬき地蔵で自由行動。続いて、東京ドーム世界らん展を見学し、咲き誇る蘭の花々に魅了されました。来年も本ツアーは開催予定です、ぜひ次回をお楽しみしてください。

後援会本部 事務所開き

5/13 (日)



二期目に挑戦する夏の闘い。その拠点として、掛川市成滝に後援会本部事務所を構えました。事務所開きには、県内外から衆参国会議員を始め各支援団体、歩む会の皆様など七百名を超えるご参加をいただきました。

国会活動報告

こんな質問をしました(第六八回国会)

三月二十九日 外交防衛委員会

今年に入つて漸くブラジルでの裁判が開始された「外国人逃亡犯罪人」の問題に関して、遺族の方達の裁判の傍聴等に対する支援等を要請。そして、農林水産省が今年度から行う「海外日本食レストラン推奨」事業について質問。このような事業は民間が行うべきものであり二億七千六百万円の予算は無駄であると厳しく指摘しました。

四月二十五日 本会議



在日米軍再編促進法案に関して、会派を代表して質問に立ちました。経費が三兆円近くにもなると言われる在日米軍の再編について、米軍の移転・再編の全容、費用、日本の経費負担額やその根拠等を具体的に明らかにするよう求めましたが、首相は「日米間で検討中」であるとして、何ら明らかにしていませんでした。

五月十七日 外交防衛委員会

本会議に続き在日米軍再編促進法案に関して質問。本会議で具体的答弁がなかったため、詳しく説明するよう再要求。また、在日米軍が紛争地域に移動する場合には必ず事前協議を行うよう主張しました。

議院運営委員会理事に就任しました

今回の選挙結果を受け、しんば議員は、議院運営委員会理事の職を拝命しました。「議院運営委員会」とは、本会議の日程、議題、発言者、時間、採決方法等の本会議に関する事項や、委員会・調査会の設置と委員長の配分等、文字通り議院の運営に関して協議する常任委員会(略して「議運」)です。参議院と衆議院のそれぞれに設置されています。しんば議員は以前にも議運に所属し、国会図書館の運営について協議する「図書小委員長」を務めました。今回は参議院での最大会派から選ばれた議運理事として活動します。議運の運営について議運委員長や他会派の理事と事前に協議するの役割であり、大変責任の重い職務です。選挙前の国会で何度も繰り返された政府与党の強引な議院運営を厳しくチェックすると同時に、皆様の想いを出る限り法案や政策に反映できるよう政府与党に強く働き掛けていきます。

# 賀津也の部屋

9月10日午後2時30分。所信表明演説のために参議院本会議場へ入ってきた安倍総理の足が一瞬止まった。民主党を中心とする「野党」が半分以上をうめる参議院の異様な熱気に圧倒されたようだ。そこには無論、前自民党参院幹事長・片山虎之助氏ら落選したベテラン議員たちの姿はなかった。地殻変動が起きていることを誰もが感じていた。

演説とともに起こる議場内からの怒涛の「人間の叫び(=ヤジ)」。定まらない総理の視点。完全に平常心を失っていた総理は、なんと洞爺湖サミットの部分の演説を読み飛ばしてしまった。今度は与党側からも沸き起こる失笑と注意の大声。それでも総理はミスに最後まで気がつかず、座ったままの総理。総理が帰らないため、キョロキョロしながらひな壇に座り続ける大臣たち・・・。

慌てた職員が総理に歩み寄り、腕を軽くたたきながら耳打ち。「総理、退席です」やっと気がついた総理は、急いで椅子から立ち上がり議場を後にした。総理の顔は終始、強張り、笑顔を一度も見せることはなかった。

総理が突然の辞任表明をしたのは、その二日後だった。

総理が突然の辞任表明をしたのは、その二日後だった。

総理が突然の辞任表明をしたのは、その二日後だった。

## しんば賀津也と歩む会 親睦旅行

## 群馬を代表する温泉郷 「水上温泉」に泊まる!!

衆議院議員わたなべ周先生の親睦旅行に今年もご一緒させていただきます。主な行き先は、関東三大厄師の一つ「佐野厄除大師」。秋の群馬と一緒に散策してみませんか？是非、皆様お誘い合せの上、ご参加ください。  
●詳しくは、しんば賀津也事務所までお問い合わせください。

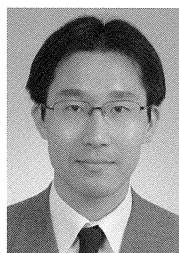
- ご旅行日 平成19年11月11日(日)～12日(月)【90名】
- ご旅行代金 20,000円(大人お一人様)
- ご宿泊旅館 水上温泉 源泉湯の宿 松乃井
- 締切日 平成19年10月12日

## 新しい総支部長(次期衆院選公認候補内定者)が決定!!

民主党静岡県第3区  
総支部長

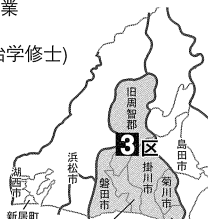
こやま のぶひろ  
**小山 展弘 氏**

1975(昭和50)年  
12月26日生まれ 31歳



- 掛川(旧大須賀町)生まれ、磐田育ち
- 磐田西小、磐田一中、磐田南高卒業
- 早稲田大学政治経済学部卒業
- 同大学院政治学研究科終了(政治学修士)
- 農林中央金庫(JAバンク)勤務

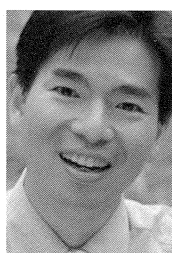
好きなスポーツ:水泳、弓道(三段)  
趣味:温泉めぐり・史跡めぐり  
子供のころのニックネーム  
:こんちゃん



民主党静岡県第8区  
総支部長

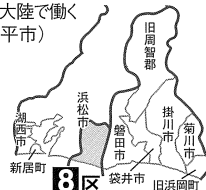
さいとう すずむ  
**齊藤 進 氏**

1970(昭和45)年  
11月8日生まれ 36歳



- 浜松生まれ
- 中央大学 経済学部 経済学科 卒業
- イスラエル・ゴラン高原にて農業ボランティア
- 中近東、欧州、南アジア、南北アメリカ大陸で働く
- 28才で市議会議員当選(東京都小平市)
- 2期8年務め、厚生委員長等を歴任

家族:妻・子(長男、長女)  
趣味:読書、釣り、サイクリング  
好きな言葉:「寛容」、「個人の尊厳」



## FIGHT! 声声

7月の選挙では、どうもおめでとうございました。選挙中の11日間、遊説隊長として一緒に行動させていただいた時、議員からは、熱意とともに緊張感が常に伝わってきました。

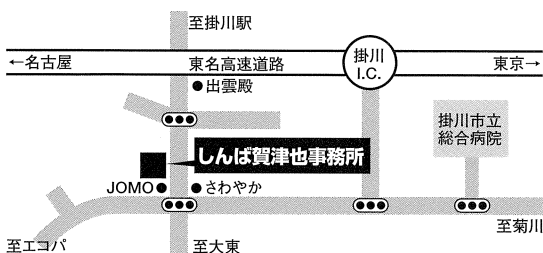
これからの政局の中で、2期目をむかえられたしんば賀津也議員の役割は、ますます重要となってくると思います。選挙中のあの熱意と緊張感を持ってすれば、きっと議員の役割を十二分に果たせると思います。これからもお体には気をつけて、持ち前のガッツでがんばってください!!

遊説隊長 杉山雅一

## 榛葉賀津也 プロフィール

- 昭和42年 静岡県小笠郡菊川町(現菊川市)生まれ
- 昭和61年 静岡県立掛川西高等学校卒
- 平成 3年 米国オハイオ州オタバイン大学卒
- イスラエル国立エルサレム・ヘブライ大学大学院留学
- 平成 6年 菊川町議会議員当選(26歳・1期)
- 平成13年 静岡県選挙区より参議院議員選挙初当選(34歳)
- 平成19年 参議院議員選挙2期目当選(40歳)
- 参議院・議院運営委員会理事に就任
- また、これまでに参議院国会対策委員長代理、民主党「次の内閣」防衛庁副長官等を歴任

『しんば賀津也と歩む会』会員募集中! わたしたちと一緒に榛葉賀津也の政治活動を支援していただける方を募集しています。詳しくは事務所までお問い合わせください。



発行所

## しんば賀津也と歩む会

〒436-0022 静岡県掛川市上張862-1 FGKビル TEL 0537-62-3355 FAX 0537-62-3356

E-mail:go@k-shimba.com

http://www.k-shimba.com

発行責任者:会長 松下知生

しんば賀津也と歩む会NEWSのお問合せは、榛葉事務所・事務局 市野まで